

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	そくしん渡波（放課後等デイサービス）			
○保護者評価実施期間	2025年 2月 20日 ～ 2025年 3月 21日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18世帯	(回答者数)	15世帯
○従業者評価実施期間	2025年 2月 17日 ～ 2025年 2月 24日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14名	(回答者数)	14名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 26日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	その日の予定などが分かりやすく掲示されており、はじめの会などを通して子どもの意見を取り入れながらプログラムが提供されている。	大きなホワイトボードを使って分かりやすくその日の予定を掲示している。はじめの会などでも子どもの意見を聞く場（子ども会議）を設け、可能な限り子どもたち主体で活動ができるよう心がけている。	自分で意見を述べるのが難しいお子さんには、こちらから本人の意思を確かめる意識の強化や、分かりやすい時間割りの作成などで、より活動内容を視覚化して行動しやすいように取り組むことができる。
2	概ね毎月、事業所の通信「ぐっどふれんど」を手作りで作成し定期的な活動報告を発信している他、ホームページ（ https://ds.npo-sokushin.org/ ）でも定期的に活動の様子を配信している。	「ぐっどふれんど」ではたくさんの写真を使って活動の様子が見てすぐに伝わるよう工夫している。イベントだけでなく職員研修の報告も掲載するようにしている。ホームページ（ https://ds.npo-sokushin.org/ ）はなるべく頻繁に更新するようにしている。	事業所の通信で取り上げる内容を、特にこどもたちが成長したと感じる場面の写真や内容にする事でより充実化を図ることができる。
3	多彩な外出活動やイベント（家族参加型を含む）、様々なクッキング（食育）などの活動プログラムを豊富に提供しよう心がけている。	保護者やきょうだいなどご家族に参加していただけるイベントとなるよう検討しながら計画させていただいている。外出活動や食育では、子どもたちに人気の計画に加え、新しいものを取り入れながら固定化されないように心がけている。	独自で開催するイベント以外にも、地域で参加できるイベントにも精通し積極的に参加する気持ちで取り組んでいる。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや地域の他のこどもと活動する機会の提供。	児童館など地域に開かれた場には行きやすいものの、児童クラブとの連携に必要な事前のコーディネートなど課題に取り組む必要がある。	児童館の利用や公園その他の場所での他のこどもとの活動の様子を伝える形で発信する点で向上を目指しつつ、児童クラブとの交流の機会を探る取り組みをしていきたいと思います。
2	ケガなどが発生した時の保護者への速やかな連絡対応。	インシデントの大小に関わらず、保護者さまの期待や要望に寄り添う支援の質の向上が必要とされている。	日頃から保護者さまのニーズに敏感な支援体制を保てるよう、ミーティングや研修の機会を活用し支援の質の向上につなげます。
3	保護者同士の交流の機会やきょうだい向けイベントの開催。	保護者参加型のイベントを可能な限り増やしていく取り組みと、きょうだい向けイベントとしての趣旨を目立たせた情報発信に努める必要がある。	年間行事計画などを通して保護者参加型イベントやきょうだい向けイベントの開催を可能な限り早期にお伝えできるように改善・工夫していきたいと思います。